

ニュースレター

ヘリンガー インスティテュート ジャパンより

News-letter from Hellinger Institute Japan

このメールは、これまでに小林真美（チェトナ小林）のファミリー・コンステレーション、システムック・コンステレーションのワークショップにご参加いただいた方々にご登録の方々にお送りしています。

#13-2015/05/20

こんにちは。

ヘリンガー・インスティテュート・ジャパンの小林です。

前回のニュースレターで、あんちゃん（藤岡延樹氏：真宗のお坊さん、ミュージシャン、セラピスト）を招いてのトレーニングの様などをつづりました。

そのことと関連する、5月9日の私のブログ「川辺にて思う／YouTubeで・・・」
(http://blog.livedoor.jp/chetna_by_the_river/archives/51990243.html) に
掲載したものの続きをお見せしたいと思います。

あの5月9日のブログでお見せした私のYouTube画像は、
あんちゃんに瞑想指導を依頼することになるきっかけの前段階を表したもので、
あの映像は、あんちゃんの演奏の直前までをお見せしています
今日、ようやく全編をお見せすることができます。

残念ながら、ノイズはずっとあります。

演奏をお聴かせするための収録ではなかったこと、
また、当時使っていたカメラの集音マイクではこの音質が限界でした。
どうぞ、ノイズの向こうの音色を聴いてください。

「私たちが楽器」

<https://youtu.be/IA9TDCmn7x0>

1期のトレーニング開始以来、
これまで様々な分野の、
有名無名の人たちがトレーニングに籍を置き、
学びをともにしてきています。

私の古いブログを読まれた方はご存知と思いますが、
私はそもそもファミリー・コンステレーションのファシリテーターになりたいとか、
トレーナーになれるとか、
なろうとか計画してなった訳ではなく、
すべて私の判断を超えた、
人との出会いに導かれて今、ここに至っています。

その中には、インド人瞑想の師匠・和尚ラジニーシがおり、
バート・ヘリンガーがおり、
1期トレーニングのメイントレーナーのハラルド・ホーネンがおり、
たくさんの先輩方、先生がいるのですが、
同時に、
私にはないたくさんの才能に恵まれた、
トレーニング生の皆さんから助けってもらったり、
教えてもらったり、
導いてもらったことも、
今の私と、
現在のトレーニングの質を作ってくれたことを、
私は忘れていません。

今回、

この映像でご紹介した演奏の中を流れる瞑想は、
それら多くの人たちの中の才能という花の一片の花びらに過ぎません。
多くの美しい花がその才能をトレーニングの中で分かち合い、
お互いに切磋琢磨して、
それぞれの進むべき道を応援し合う場をともに作り続けています。

あんちゃんに限らず、

1期トレーニングからずっと学びを続けてきて、
私の最初のワークショップをオーガナイズしてくれたT木M子さん、
ずっとひたむきに打ち込んできているN村N子さん、
すごくたくさんのヒントやサポートを貰っています。

初期のトレーニングの初回、

「僕はゲイです。ですから、セクシャル・マイノリティに対して、偏見、先入観に基づいた言動には注意してください。尊重してください」と、
自己紹介してくれたIミン、尊厳とうものを目の当たりにさせて貰いました。

私に紫翠苑という更正保護施設との縁を結んでくれたF田さん、

これほどまでに、
自分の能力の限界に挑戦し続けなくてはならない環境を与えていただいたおかげで、
私は決して思い上がることができず、
常に戒めとともに生きていきます。

私が戦争とコンステレーションとの関係を、

どこから研究し始めて良いか解らず、
手探りで、やみくもに、
とにかく何かを始めようとしていた時に、
自分がセラピストとして得てきた貴重な知識と経験を、
惜し気もなく私に与えてくれたM・A子ちゃん、
最も重要なことがクライアントを助けるためという、
あなたのぶれない芯が私を信頼してくれたことに、
私は今も思い出す度に感動しています。

あのとき教えてくれたことがヒントとなって、
現在の研究成果に至る大きな手がかりを得ました。

ここで、例に挙げることができる人数は本当に限られています。
今も、密に繋がっている人たちは、
他にもたくさん、たくさん、たくさんいます。
書き始めると本が何冊か書けてしまうくらいにエピソードがあるため、
これ以上は書きませんが、

もちろん、
中には後ろ足で砂をかけるようにして、
去っていった元受講生もいます。
その人からも私は学びました。

振り返ると出会いのすべてが私に力を与え、私を構成しています。

外から見ると、
私がどのような距離感で、
人との縁を見ているか解らないのは当然です。

時々変なことを言う人がいるので、
あえて表明しておきますね。

私が過去に在籍したトレーニング生の特定の誰かに対して、
競争意識をもったり、
比較したり、
対抗意識をもったり、
悪意をもったり、
その人の道における成功を望んでいなかったりと、
私が良からぬことを考えていると、
想像する方がいらっしやいますが、
それらはみんな、
想像している人ご本人が自身の中にお持ちのものの投影で、

私には何の関係もありません。

私は自分の仕事の、
次にやらなくてはならないことが山盛りで毎瞬迫ってくるので、
そんなことに構っている暇がありません。

* * * * *

小林 真美 (チェトナ小林)
ヘリンガー・インスティテュート・ジャパン
<http://www.hellingerinstitutejapan.com/>